

用語解説

○ パブリックコメント

政策に関する基本的な事項を定める計画等の立案過程において、当該立案に係る政策の内容、趣旨その他必要な事項を公表し、これらに対する県民の意見を募集するもの。

○ オープンデータ

自治体などで保有する公共データが、県民や企業などに利活用されるように、機械判読に適した形で、二次利用可能なルールのもとで公開されること、また、そのように公開されたデータをいう。

○ 指定管理者

地方公共団体が、レクリエーション・スポーツ施設等の公の施設の管理を行わせるために、期間を定めて指定する団体。

○ 内部統制

業務が適正かつ効率的に遂行されるように組織を統制するための仕組み。

○ 総合評価落札方式

企業の技術力や創意工夫による耐久性の向上、品質等の確保が期待できる工事（業務）を対象として、企業の施工実績や技術者の技術的能力・地域貢献などのほか、簡易な施工計画の提案、技術提案等価格以外の要素と価格とを総合的に評価して落札者を決定する方式。

○ アダプトプログラム

道路、河川、公園などを自分たちの「養子（アダプト）」に見立てて、ボランティアで清掃、美化してもらおうという考え方。

○ テレワーク

情報通信技術（ICT）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことで、「Tele = 離れた所」と「Work = 働く」をあわせた造語。

○ 朝型勤務

勤務時間の開始・終了時刻の繰上げにより、まだ明るい夕方の時間を有効に活用し、生活を豊かにしようという取組。

○ **レジリエンス研修**

逆境力を磨き、しなやかで折れない心を創る研修。

○ **教育専門監**

教科指導、部活動指導、特別支援教育に係る指導等において高い専門性に裏付けられた実践的指導力を発揮し、優れた教育活動を行っている教員を、「教育専門監」として県教育委員会が発令したもの。

○ **プライマリーバランス**

財政の健全性を示す指標で、一般的には県債の元利償還額と県債収入との差を用いるが、本県ではより厳しく、県債の元金償還額と県債収入との差を指標としており、この値が黒字である場合は、県債残高の減少を意味する。

○ **財政調整基金**

災害の応急対策その他特別の事件に要する経費の財源に充てることにより財政の調整を図るための基金。

○ **減債基金**

県債の償還財源を計画的に確保するための基金。

○ **ファシリティマネジメント**

業務用不動産（土地、建物、構築物、設備等）すべてを経営にとって最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、使用し、運営し、維持するための総合的な管理手法。

○ **ネーミングライツ**

スポーツ施設や観光施設等の県有施設の名称に企業名を付けることができる権利。

○ **公共施設等総合管理計画**

公共施設等全体を把握し、長期的な視点から、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことによって財政負担を軽減・平準化するとともに、人口減少等の社会情勢に見合った施設総量の適正化及びサービス適正化を図り公共施設等の最適な配置を実現するため計画（あきた公共施設等総合管理計画）。

- **全体最適化**
最小限のコストで最大限の効果を発揮する I T の追求。

- **長寿命化施策**
施設の計画的な維持・管理計画を策定し、適切な時期に施設の補修・更新を行うことにより、既存施設の延命化とライフサイクルコストの縮減を図る。

- **PPP (Public Private Partnership)**
公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間も創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもので、PFI は PPP の一類型。

- **PFI (Private Finance Initiative)**
PFI 法に基づき、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

- **第三セクター**
公共と民間の共同出資による事業体の通称。そのうち、県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの 25% 以上を出資・出捐している法人について行動計画を策定。